

A……01

びしゃもんどう

毘沙門堂

シダレザクラ



安朱稲荷山町

高さ 7.8m

幹周 2.30m

ばら科 / 落葉高木

毘沙門堂は江戸時代初期に、この地で再興されました。この桜は「毘沙門しだれ」と呼ばれ、3世紀にわたって植え継がれています。現在のサクラは五代目と言われ、春には遠方からも大勢の人が花見に訪れるそうです。

A……03

毘沙門堂  
ヤマモモ



安朱稲荷山町

高さ 20.0m 幹周 2.35m

やまもも科 / 常緑高木

ヤマモモは温暖な地方に多い常緑高木で、雌雄異株。この古木は雄株です。

A……02

毘沙門堂  
イロハモミジ



安朱稲荷山町

高さ 11.0m

幹周 1.40m

かえで科 / 落葉高木

植樹帯のなかで精一杯に根を伸ばし、心地よい木陰を提供しています。イロハモミジという名は、葉に5～7つの深い切込みがあり、その数を「イロハニホト」と数えたことからついたようです。

A……04

御陵大岩  
ヒノキ



御陵大岩

高さ 18.0m 幹周 2.55m

ひのき科 / 常緑高木

旧大岩村の神木で、このヒノキは、雨乞いの神事と関係があったと伝えられています。